

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	オリブキッズせんかわ				公表日	2024年 9月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		物の配置や棚の大きさなどちょうどよいものを選んでいる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		子ども一人ひとりをしっかりと見る余裕がある人員であると感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		雨の日や雪の日は入り口付近が滑りやすいため、車いすの子がいるときは注意が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	定期的に職員みんなで大掃除を行っている。	玩具が多く全体的に物が多いと感じるときがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1		不必要に個室に入ってしまう児童への対処が統一できていないことがあった。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	毎月の支援会議や研修で意見交換ができています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		色々な研修を行ってくれたり、案内をもらうことがある。	外部研修の情報をもっとあると良い。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3	現在作成中である。	支援プログラムについてまだよく理解していない。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		子どもたち本人の意見も聞いたり、面談したりして意見をしっかりと反映していると思う。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		曜日によって関わりの少ない子については把握しきれていない部分があるかもしれないと感じた。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		毎月更新された際共有されている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3		アセスメントの意見が合わないこともあり、各職員の理解度が異なると感じることがある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	1	4	新様式に移行中である。	様式の変更を行っているためまだ追加されていない項目がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	多職種で連携しながら行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	色々なイベントを定期的に開催している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		外出も多く集団で過ごす機会が多いと思う。共同で取り組む作業やイベントがあり、集団での活動も取り入れている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		急な変更があったときに把握しきれないことがあった。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	カンファで共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	カンファの記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的に計画を適宜変更して個別性に合った計画書の作成を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		行きたい場所ややりたいことを個別で募りできるだけ実現できるよう関わっている。レクを通して自分でほしいものを買う機会を多く設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者や常勤職員が多く参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		連絡先をまとめておりいつでも連携を図ることができるようになっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2		学校から共有できないと言われることがあり、保護者を經由して誤った情報が伝わっていることがある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	就学支援シートを保護者から共有してもらい、情報を確認している。	直接事業所とやり取りしていることは少ないと思う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3		卒業する児童が少なくまだ機会が少ない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		研修についてはわからない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	1	毎年地域のお祭りに参加したり、色んな子どもと関わるテーマパークへ行ったりしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	児童発達支援管理責任者を中心に参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		専用のシステムやメッセージアプリを用いていつでも情報を共有したり相談したりできる体制が整っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	家庭の困りごとを定期的に確認したり、必要な情報提供を行っている。	家族参加の研修は行っていないと思う。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時にしっかり説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者面談だけでなく子供とも面談を行い計画や情報に反映している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		定期的に面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3	遠足に兄弟が参加する事例を今年は作る事ができた。	外出時に保護者参加の機会を設けたが、参加者が集まらなかった。
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情対応について契約時にも説明している。		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	2	メッセージツールや活動記録を用いて様子を公開している。	SNSの活用がまだ行えていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1		配布物の渡し間違えがあったため、それ以降気を付けている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		イベントや会議に近隣の事業所のお子さんや職員を招待し、交流をもっている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		適切にマニュアルを策定し、研修や訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		適切にマニュアルを策定し、研修や訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	服薬が必要な時はお薬手帳の控えを確認したり、医師からの指示を確認してから来所していただくようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		適切に計画を策定し、研修や訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		何かあったときは全職員で共有し、再発防止について意見交換したり、周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		適切にマニュアルを策定し、研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	契約時にしっかり説明している。	